

※ 2016.4.17 熊本地震(4/14,4/16)の影響でビブリオ・トーク4月の定例会は中止

2016.5.15No.31 「写真をめぐるビブリオ・トーク」 写真家、芥川仁氏と京都大学人文科学研究所の藤原辰史氏をお招きした。芥川氏の写真家としての根幹に影響を及ぼした本や、写真家として表現したのものなどを語っていただきました。(会場: 真和高校教室。当館は熊本地震対応で使用不可)

書名	著者	所蔵の有無
太陽の鉛筆	東松 照明	○
アメリカンズ	ロバート・フランク	×
英国人写真家の見た明治日本	ハーバート・G・ポンティング	×
みさおとふくまる	伊原 美代子	○
私とマリオ・ジャコメッリ	辺見 庸	○
ちょっとピンぼけ	ロバート・キャパ	○
ブタとおっちゃん	山地としての	○
形態学	倉谷 滋	○
世界でいちばん長い写真	菅田 哲也	○

※ 2016.6.19 熊本地震対応で集会室が使えないため中止

2016.7.17(日) インド食堂にてビブリオ・トーク

書名	著者	所蔵の有無
洛中洛外図屏風	小嶋 道裕	○
燃える森に生きる	内田 道雄	○
陸軍士官学校事件	筒井 清忠	○
第一次世界大戦を考える	藤原 辰史/編	○
三時のわたし	浅生 ハルミン	○
浅田家	浅田 政志	○
くまモン、どこ行くの?	浅田 政志/写真	○
もこもこもこ	谷川俊太郎/作 元永 定正/絵	○
おおきなかぶ	A.トルストイ/再話 佐藤 忠良/画	○
潮騒	三島 由紀夫	○
デミアン	ヘルマン・ヘッセ	○
燃えよ剣	司馬 遼太郎	○
白い巨塔	山崎 豊子	○
岐路	立原 正秋	×
窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子	○
わが闘争	カール・オーヴェ・クナウスゴール	○
山頭火 アルバム		○
悪役令嬢	涼風	○

※ 2016.8.21(日) 集会室使用可になったので、通常通りの再開。戦争関係の本が数点紹介されました

書名	著者	所蔵の有無
ヒトラー 上 1889-1936傲慢	イアン・カーショー	○
超絶技巧美術館	山下裕二/監修	○
村(百姓たちの近世)	水本 邦彦	○
北杜夫(どくとるマンボウ文学館)	河出書房新社編集部/編集	○
日本人の魂の古層	金山 秋男	×
玉碎の島々	平塚 枢緒	○
夜と霧	ヴィクトール・E・フランクル	○
ミレー	ロマン・ロラン	○
中途の家	エラリー・クイーン/著 越前 敏弥/訳	×
聖の青春	大崎 善生	○

※ 2016.9.18(日)No.33 先月に続いて戦争関係と話題の本と地元の本が紹介されました

書名	著者	所蔵の有無
愛の棘	島尾 ミホ	○
彼女に関する十二章	中島 京子	○
満蒙開拓青少年義勇軍の旅路	旅の文化研究所/編	×
コンビニ人間	村田 沙耶香	○
街は記憶する I	上通商栄会/編	○
街は記憶する II	上通商栄会/編	○
路傍	東山 彰良	○
山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた	山中伸弥/緑 慎也	○

※ 2016.10.29(土)No.34 「震災と再生のビブリオ・トーク」阿蘇の写真家、長野良市氏と京都大学人文科学研究所の藤原辰史氏をお招きしました。

熊本地震で、阿蘇の現状を写真に撮りボランティア活動もされた長野さんが紹介されたという震災関連の本や、他の方々も地震関連の本を紹介いただき、正直テーマが狭すぎて紹介する本が見つけないかと思っておりましたが、思いのほか多くの本が紹介されました。

書名	著者	所蔵の有無
阿蘇に学ぶ	須藤 靖明	○
阿蘇遺産	(財)阿蘇地域振興デザインセンター (出版)	○
子どもを守る防災手帖	MAMA-PLUG	×
せまりくる天災とどう向き合うか	鎌田 浩毅	×
先人の暮らしと世界観	熊本歴史叢書 2	○
古代日本史最前線	文芸春秋／編	○
おかあさんと子どものための防災&非常時ごはんブック	草野かおる	×
大地動乱の時代	石橋 克彦	○
雑誌「世界」2016.4月号 「誰が植物工場を必要としているのか」	小塩 海平	○
水俣から福島へ	山田 真	○
あおい目のこねこ	エゴン・マーチン	○
アウシュビッツ博物館案内	中谷 剛	○
巨大地震としくみ Newton imook	ニュートンプレス(出版)	○
子どもの目に映った戦争 -第二次世界大戦ポーランド-	カタジナ, イバニッカ 編	○
震災歌集	長谷川 權	○
地震イツモノート	地震イツモプロジェクト／編	○
地震イツモマニュアル	地震イツモプロジェクト／編	○